



次のページは



小林議員



備前島議員

一般質問



たかはし しげき
高橋茂樹 議員

補助

緊急経済対策住宅等リフォーム支援事業

「私の視点」

リフォーム支援事業は、物価高騰対策に対する支援として町民にとって大変有効な補助事業である。十分な周知を図った上で、事業を実施していただきたい。

答弁（町長） 地域経済の活性化を促進し、町民の生活環境の向上を図る

問 緊急経済対策住宅等リフォーム支援事業の補助金の内容は。

答（町長） この補助金は、物価高騰対策に対する国の「重点支援地方交付金」を活用して、住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化を促進するため、町内の施工業者によって住宅等の改築等工事を行う者に対し、予算の範囲内において経費の一部を補助金として交付するとともに、町民の生活環境の向上を図ることを目的としている。

補助対象者は、町内の住民基本台帳に登録され、または外国人登録原票に登録されている者で、また、店舗等の場合については、町内に店舗等がある個人・法人となる。

補助額は、補助対象工事に係る金額の100分の20に相当する額とし、その額が10万円を超える場合は上限10万円となる。

問 令和7年3月に一般質問した「五料・飯倉地区の田の水利改善は」のその後の進捗状況は。

答（町長） 「五料・飯倉地区農地利用活性化基本構想」に基づき、新たな農地の有効活用に向けた取組を進めている。田んぼに対する水利改善は町としても大変重要であると認識しているが、本地区については、一団の農地であることや、県道に近接していることによる交通アクセスの優位性があり、農業先進地区として大変ポテンシャルが高い場所であるので、農業系企業誘致の可能性も含め、今までにない新しい農地利用の形態を模索している。企業参入の検証に必要

となる本地域の特性や諸条件、支援メニューなどの情報を集約した「農業系企業誘致ガイドライン」を本年度中に作成し、効率の高い情報コンテンツの構築を進めていく。また、群馬県が実施する「農業版企業誘致デジタルパンフレット」事業の県内モデル自治体に立候補し、インターネット上で農地の状況を見ることができる、デジタルパンフレットの公表を群馬県とともに目指して、本地区に係る情報リーチ度*を高める。

*情報リーチ度：特定の情報がどれだけの人数に届いたかを示す指標

こんな質問もしています

- ・下水道事業について
- ・小中学校の現状について



校内教育支援センター。子供たちの実態に応じた積極的な活用が期待される。



はとり みつひろ
羽鳥光博 議員

農業

上福島西地区7.4ヘクタール農地の開発推進方策は

「私の視点」

平成4年の開発着手以来、企業からの何度かの開発アプローチがあったが、いずれも実らず、未開発となっている。県企業局による開発促進を働きかけるべきである。

答弁（町長） 県開発審査会提案基準による民間開発に期待

問 上福島地区の土地活用として棚上げになっている7.4ヘクタールの開発促進について、これまでに行われた農振除外等の変遷があるが、現在、この広大な土地の活用が進んでいない要因をどのように町は認識しているか。提案として、群馬県企業局に開発要請を行うなど、町として主体的な取組を開始する考えはあるか。

答（町長） この農地の開発は「物流業務の総合化及び効率化の促進に関する法律」による施設が開発許可対象となるが、進出意向企業の開発内容が、県の開発審査会提案基準の一つである「特定流通業務施設」の開発基準に満たないことが要因ではないかと考える。町としては、都市計画マスタープランの実現、雇用機会の確保、財政の健全化、ひいては地域振興の活性化となるよう今後も開発促進について支援していきたいと考えている。群馬県企業局が開発を行う場合も、まずは市街化区域への編入が必要となる。



上陽上福島西地区の多くの地権者の思いが募る開発予定地

循環型社会の構築への取組

問 NHKのニュースでイギリスのベンチャー企業が下水汚泥から高効率でSAF（持続可能な航空燃料）に転用リサイクルする技術を生み出した事例が取り上げられた。玉村町にある県央水質浄化センターの汚泥について、例えば玉村町で、肥料として売り出すなどの資源としての活用を検討できないか。循環型社会の構築という視点から、県と連携して汚泥の資源活用に取り組む考えはあるか。

答（町長） 群馬県、町、調査研究委員会の三者により、汚泥の活用の可能性を含め、「資源を活用した地域づくり」として、玉村町の新たな魅力をつくる水質浄化センターの実現に向けた検討を進めている。

旅行者による経済効果と地域活性化

問 玉村町として道の駅玉村宿と玉村八幡宮への観光客誘致策をどのように考えているか。具体的に、玉村八幡宮近傍の再開発による食べ歩き可能な環境整備と日光例幣使道の街並み整備を行う考えはあるか。

答（町長） 玉村八幡宮近傍や日光例幣使道には町重要文化財や重要文化財の候補になりうるような歴史資産もあるが、そういった歴史資産を活用する国の補助メニューもあるが、町も多額の費用を負担しなければならないため、まずは、誘客やPRにつながるソフト対策から検討を行いたい。